

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各分会の次回開催予定△▼△

共同建替え分会	8月 29日(水)
コーポラティブ住宅分会	8月 22日(水)
団地・マンション再生分会	8月 31日(金)
福祉分会	8月 20日(月)
総務分会	
広報分会	

としまち研会員の方であれば誰でも分会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆進行中のプロジェクトニュース☆

・奥澤コーポラティブハウス

建物の躯体内覧、コンセントチェック会が始まりました。

引き続き参加者(入居希望者)の募集を行っています。どなたかお知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

・九段南コーポラティブハウスII

前ページ参照。  
参加者募集中。千代田区内でお住まいをお探しの方がおりましたら、事務局までご連絡ください。

・ロイアルー番町 大規模修繕工事会社が決定(団地・マンション再生分会)

としまち研が大規模修繕のコンサルティングを行っているロイアルー番町(千代田区)で、7月27日(金)の臨時総会にて、大規模修繕工事の施工会社を決定しました。



7月2日(月)、理事会主催の施工会社ヒアリングが行われたの臨時総会の様子ですが、見積書を提出した4社のうち、2社を対象としました。

プレゼンテーションが行われた後、参加者から、見積の内容、会社の取組体制や現場監督の姿勢、工事期間中の居住者への配慮や対策等について質問をしました。

2社とも、甲乙つけがたいところでしたが、翌日の理事会で、見積金額や会社の取組姿勢等を総合的に判断し、1社に内定しました。

今後は、8月初旬の工事説明会を経て、お盆明けの8月下旬から、いよいよ工事が始まります。

ごあいさつ

この度、9月から産休と育児休暇に入らせていただくことになりました。皆様にご迷惑をおかけすることも出てきてしまうのですが、約1年のお休みをいただき、復帰の予定ですので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(としまち研事務局 五十嵐敦子)

はじめまして

はじめまして、私、岩ヶ谷充と申します。9月よりとしまち研の事務局スタッフとしてご一緒させていただくことになりました。日々勉強、日々努力の精神で皆様についていきたいと思っております。

よろしくお願ひ致します。

(としまち研事務局 岩ヶ谷充)



編集後記

新年…なんていっていただたらもう夏です(年寄りの会話のようですが…)。夏ってこんなに暑かったですか?と聞きたくなるくらい、暑い毎が続いていますが、皆さん夏バテしてませんか?

さて、9月から五十嵐さんが産休に入りますが、現在、としまち研事務所では、東松島市に常駐していた佐藤さんが東京での仕事になり、そしてこれから岩ヶ谷さんが事務局に加わり…ということで急に平均年齢が下がりました。事務所内、人が増えてなんだか落ち着かない毎日です。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員59人 賛助会員31人  
編集発行人 比護彰彦  
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第58号

おいらのまち

2012.7

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

住宅地事例視察と被災地訪問 ~復興支援のための学びの旅~

としまち研東日本大震災復興支援委員会の呼びかけで、7月24日(火)・25日(水)の2日間、総勢22名で3ヶ所の住宅地事例視察と3ヶ所の被災地訪問に行ってきました。

復興支援も移転先住宅地をどうつくるかを早急に検討しなければいけない段階になってきましたが、としまち研にとって、参考になる住宅地を見学し、できれば関係者のお話も伺いたいという企画でした。

24日、はじめに訪問した福島県伊達市諏訪野では、福島県住宅生協の和合理事長など3人の方にお話を聞くことができました。次に訪問した仙台市の泉パークタウン紫山地区でも三菱地所の方にお話をしてもらい、3ヶ所目のシーアイタウン利府葉山ガーデンポートでは関係者のお話は聞けませんでした。住宅地内を散策するなかで住民の方に声をかけてお話を聞くなど、滅多にない機会を得て、大変勉強になりました。

25日は、宿から一路、気仙沼市小泉地区へ。“小泉地区の明日を考える会”の事務所で加納事務局長から、高台移転でどんな住宅地にするかについて多角的な検討をしているお話を聞きました。大変臨場感のある場所でした。その後、予定を一部変更して東松島市の大曲浜に向かいました。

大曲浜では、三浦正信さん(漁協の代表、大曲浜復興委員会委員長)にお会いし、海苔養殖の復興状況などのお話を聞きました。



諏訪野のコモン

最後に、東松島市の小野駅前仮設住宅を訪問し、集会所で、茄子の漬け物と西瓜をご馳走になり、仮設住宅のおかあさんたちが手づくりしているソックモンキー「おのくん」と仮設住宅住民のインタビュー記事が掲載されているパンフレット「3.11の証言~心に留める東日本大震災震災報告Ⅲ」を参加者それぞれが買い、再訪を約束して、東松島市を後にしました。



加納事務局長がお話する様子

今回の旅は、予定された視察地を2カ所スルーするなどスケジュールが詰まっていたのですが、とても内容豊かな学びの旅になりました。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員による、リレー形式のエッセイです。

『風の谷のあの人と結婚する方法』 としまち研 濱田政和

タイトルは数年前、僕が本屋で一目惚れし購入してしまった本のモノです。内容は、ライターと元格闘家の2人による、人生に関する質疑回答メールのやりとりを記録したものでした。

直感で購入したにも関わらず、なかなか興味深いことが多く書かれており、最も印象に残っている文章に「ブラジルで1匹の蝶が羽ばたくと、遠く離れた北半球のアラスカで猛吹雪が起る可能性がある。(バタフライ理論)」というものがありました。人に例えると、どんな些細な行動や出来事でも、やがては大きく人生を左右されるかもしれないということですね。

最近、蒸し暑く作業に手が着かないような日々が続いていますが、「ちょっと先の未来の為に」と意識を少し前に向けることで、無理なく誠実な行動が出来るのではと思っています。その結果は、今後の僕次第でしょうか。

ちなみに、本には“風の谷のあの人”と結婚する具体的な方法は書かれていませんでした。

※次号の「ひとりごと」は岩ヶ谷充さんです。お楽しみに。

『アトラス事例研究会&親睦会』にて感謝状をいただきました

★第202回一木会（2012. 6. 7）

東京大学大学院の小泉秀樹先生に「東日本大震災、本格復興に向けた課題」と題してお話をしてもらいました。

復興計画が土木事業の実施に向けたものとなり、市民参加のプロセスが欠如したものとなっていると厳しい指摘がありました。防災集団移転までの取り組みでも、地元の住民の方の多様な要望に耳を傾けることができたらと考えさせられました。



★第203回一木会（2012. 7. 5）

（株）現代計画研究所の済藤哲仁氏に「住民参加の住まい・まちづくり」と題して、これまで住民参加で取り組んできた住まい・まちづくりの事例を紹介していただきました。

防災集団移転など、これからの復興支援事業においても、住民主体こそすべての基本であるとともに、専門家の役割などを痛感したお話であり、復興支援活動に向けて参考になるお話でした。



今後の一木会予定

★8月（8月2日）【第204回一木会】

神奈川傾聴塾・代表の大森桃子さん 『傾聴について』

★9月（9月6日）【第205回一木会】

ある方と交渉中 お楽しみに

集団移転に係る個別面談にて

東松島市での取組については、これまで「おいらのまち」でも何度か取り上げてきましたが、6月29日（金）にとしまち研が東松島市から受託した「集団移転にかかわる個別意向調査」が終了しました。

4月から6月までの3か月間の業務で、としまち研の会員延べ297名が本塩釜のマンションで共同生活（楽しい合宿生活の様でした）をしながら東松島市役所の101会議室を拠点に取り組んできました。

4月は郵送による案内をして101会議室の相談ブースで調査対象者の来場を待つという対応でしたが、5月に入ってからは電話作戦を実施し、101会議室への来場をお願いしました。6月には電話作戦も限界にきたため、戸別訪問作戦も取り入れ、相談ブースでの待機と電話による意向確認、戸別訪問による意向確認を並行して進め、最終的には全体の約98%の方の意向を確認することができました。

行政と相談しながら、できる限りのことはやりきった感もあり、東松島市にとっても今後の検討に対して十分満足できる成果を上げることができたのではないかと考えています。

お忙しい中、時間をやりくりして参加していただいた会員の皆様、本当にお疲れ様でした。

しかし、としまち研としては意向調査が最終目的ではありません。これからは被災者の皆さんが移転先で将来にわたって安心して暮らしていけるようなまちづくりを、被災者の皆さんと一緒に作成し、東松島市に対して提言していかなければなりません。

現在、市役所と今後の動きに向けた協議を行っていますが、9月頃から新たな動きができるのではないかと考えています。

これからも東松島市での集団移転のお手伝いは続きます。東松島市の復興に向けて、としまち研会員の力を結集していきたいと考えますので、今後ともよろしく願いいたします。（としまち研 副理事長 坂口耕司）



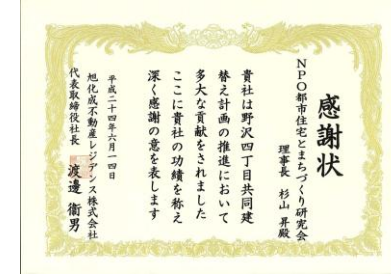
大曲浜でお話を聞く

6月14日（木）、旭化成不動産レジデンス株式会社の『アトラス事例研究会&親睦会』において、「野沢四丁目共同建替え計画（アトラス駒沢大学）」が紹介され、感謝状をいただきました。

野沢四丁目では、地権者14名による共同建替え組合を設立し、旭化成不動産に事業協力者となっていただき、計55戸14階建のマンションへの建替えを進めています。

施工会社は東急建設、竣工は今年の12月を目指して、現在、順調に工事が進んでいます。

旭化成不動産とは、としまち研の前身の頃からの付き合いですが、地権者の方々との協働を大切にしている姿勢など、相通じるところが多く、今後とも、協働の取り組みを増やしていければと思います。



いただいた感謝状

（としまち研理事 宮本愛）



感謝状を受取る様子

5月27日に建設組合を設立した「（仮称）九段南コーポラティブハウスⅡ」ペーパーレスの会議を総会・検討委員会等の会合では、なるべく紙の資料を減らすべく、1世帯に1台ずつ、iPadを購入しました。

6月22日（日）に開催した総会と共用部検討委員会で、初めて皆さんとiPadを起動、「このボタンを押して、この画面のこの部分をタッチして…」と事務局の説明もたどどしかったのですが、なんとか初回の会合は、皆さんで情報共有することができました。

九段南コーポラティブハウスⅡ建設組合が初めてのペーパーレス組合となりますが、これが引き渡しまでうまく使えるようであれば、今後、新規に立ち上がる組合でも採用していきたいと思えます。ただし、スタッフ側も使いこなせるようになる



杉山理事長も使っています

ことが目下の課題ですが…。

新居への引っ越し時に、組合員の皆さんから、資料の行き場に困るというご意見をいただいていたのですが、これからは、総会関係の資料はiPad一つです。とっても便利な世の中になりました。（としまち研事務局 飛澤玲奈）



初めてのiPad総会

としまち研では、6月から「NPOコーポラティブハウス全国推進協議会」（旧全国コープ住宅推進協議会、以下「コープ協」と呼ぶ）に加入することになりました。なぜか2団体で加入することになりました。なぜか2団体で加入することになりました。

コープ協はこの度、名称を変更、ホームページもリニューアルし、コーポラティブハウスの更なる推進や情報発信を行っています。

日本マンション学会は、マンション管理や建替え等の課題に実務家を交えて取り組んでおり、7月には「被災マンションの復旧・復興に向けた政策提言」を発表しました。

いずれも業務も引継ぎ間もないため、まだ落ち着いていない状態なのですが、としまち研事務局業務をしっかりと行うのはもちろんのこと、できる限りのお手伝いをしていきたいと思っています。

コープ協 HP : <http://www.coopkyo.gr.jp/> Tel : 03-6206-4558

マンション学会 HP : <http://www.jicl.org/> Tel : 03-6206-4668

（としまち研事務局 五十嵐敦子）